



平成20年 2月27日

各 位

会 社 名 株式会社 東急ストア  
代表社名 取締役社長 高橋 一郎  
(コード番号 8197 東証第1部)  
問合せ先 取締役社長室長 名倉 和夫  
(TEL 03 - 3711 - 0109 代表)

## 新中期3か年経営計画の策定について

当社は平成20年度～平成22年度までの新中期3か年経営計画を策定いたしましたので、下記の通りその概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 趣旨

当社は現行経営計画において、顧客密着と上質化を基本として売上高の拡大につとめる一方、売上総利益率の改善や、ロジスティクス改革をはじめとする各種プロジェクトの推進による業務の効率化、経費の有効活用に取り組んでまいりました。

しかしながら、一部の店舗では、競合激化などにより収支改善が厳しい状況にあります。

このような状況を踏まえ、新中期3か年経営計画につきましては、次のステップへ向け、「継続して成長できる企業力の確立」を最重要課題として策定し、営業利益の安定的拡大に努めてまいります。

#### 2. 基本方針

- ・ スクラップ&ビルドによる利益改善
- ・ 既存店収益力の回復
- ・ 業務改革、業務改善による効率化の推進

#### 3. 重点施策

##### スクラップ&ビルドの推進

###### 不採算店舗の利益改善

- ・ 改装・活性化、オペレーションの効率化、コスト削減など、あらゆる施策の実行スピードアップによる、抜本的な収支改善

###### 出店戦略

- ・ 東急沿線地域を重点エリアとして位置づけ、スーパーマーケット業態を基本とした出店によるドミナントの拡充と収益基盤のさらなる強化
- ・ 次の成長へ向けた、出店戦略の再構築

< 計画期間における店舗の新設・閉鎖は、それぞれ10店舗程度を想定 >

##### F S P (フリークエント・ショッパーズ・プログラム) の推進と店舗管理の基本の徹底

- ・ 蓄積した顧客情報による商圈分析、購買分析の推進とその活用
- ・ 研修強化による接客、加工技術の向上、安全・安心管理の徹底

##### P B 商品開発強化による売上総利益率の向上

- ・ P B 商品新規開発の推進 < 900アイテム >
- ・ 取扱いアイテムの絞り込みとP B商品の拡販  
< P B 商品売上高構成比 30% (対平成19年度 + 12 P) >

##### 人材活用と省力化投資による生産性向上

- ・ 柔軟な労働形態の構築、実績重視の評価など、新人事制度の導入による人材の確保と活力アップ
- ・ I T 投資と業務プロセス改革による後方業務の効率化

##### 子会社の増益体制の確立

- ・ 札幌東急ストアとの連携強化 (P B 商品、システム、物流 等) をはじめとした相乗効果のさらなる発揮

#### 4. 数値目標

##### (1) 連結

(単位：百万円)

	平成19年度 (予想)	平成20年度	平成21年度	平成22年度
営業収益 (売上高)	309,400 (297,500)	308,600 (295,300)	308,900 (295,600)	317,800 (304,300)
営業利益	6,000	6,400	6,600	7,400
経常利益	5,100	5,200	5,300	6,200
当期純利益	7,000	2,600	3,650	4,250
EBITDA	9,798	9,961	10,473	11,724
有利子負債残高	47,277	46,500	45,700	44,900

##### (2) 個別

(単位：百万円)

	平成19年度 (予想)	平成20年度	平成21年度	平成22年度
営業収益 (売上高)	252,290 (242,230)	249,720 (239,600)	250,370 (240,200)	258,970 (248,600)
営業利益	4,360	4,600	4,700	5,400
経常利益	3,480	3,500	3,500	4,300
当期純利益	7,140	1,950	2,950	3,450
EBITDA	7,308	7,329	7,748	8,917
有利子負債残高	38,134	38,000	37,500	37,000

##### 【個別 参考数値】

(単位：百万円、%)

	平成19年度 (予想)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
既存店売上高伸率	1.7	1.2	0.5	0.5	
売上総利益率	26.9	27.1	27.3	27.4	
設備投資	新設店	2,410	1,447	2,656	2,236
	改装・活性化	486	1,173	760	850
	システム	438	927	666	216
	その他	289	95	100	100
	合計	3,623	3,642	4,182	3,402

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上